



Facebookのご案内



鹿児島県赤十字血液センターのFacebookを開いています。
各種キャンペーン情報から献血会場でのあんな話やこんな話まで！
楽しく掲載しています(^^) 皆様のフォローをお待ちしています☆

<http://www.facebook.com/kagoshima.rc.bc>



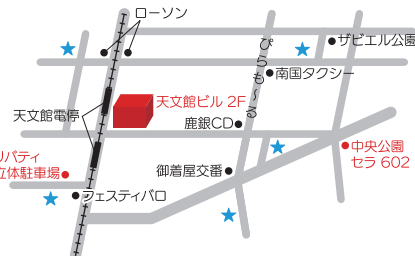
本誌へのご意見、ご感想を募集しております。住所・氏名・年齢・ご感想をご記入の上、下記住所までご送付ください。
お寄せいただいた方の中から抽選で粗品を差し上げます。発表は、発送をもってかえさせていただきます。

.....(締切)平成30年12月31日消印有効



献血プラザかもいけクロス
TEL 099-257-3141

〈受付時間〉 9:00~12:00(成分献血 11:30)
13:00~17:00(成分献血 16:30)
〈定休日〉 木曜日(年末年始除く)
〈駐車場〉 あり



献血ルーム・天文館
TEL 099-222-6511

〈受付時間〉 9:30~13:00(成分献血 12:00)
14:00~17:30(成分献血 17:00)
〈定休日〉 金曜日(年末年始除く)
〈駐車場〉 中央公園地下セラ 602(駐車券配付)
リパティ立体駐車場(駐車券配付)
〈駐輪場〉 ★

※年末年始(12/29~1/3)の開所については、ホームページ等でお知らせします。

ご案内
お知らせ

献血場所の案内をしています

・MBCラジオ
月~土 8:50 / 11:50
日 7:00頃/11:50
・ミュ-FM(16時台)※土日なし
・シティFM(17:37)※土日なし
・南日本新聞



ホームページでもお知らせしています

鹿児島県の献血に関する情報など
PCモバイル共通→
<https://www.bs.jrc.or.jp/bc9/kagoshima>

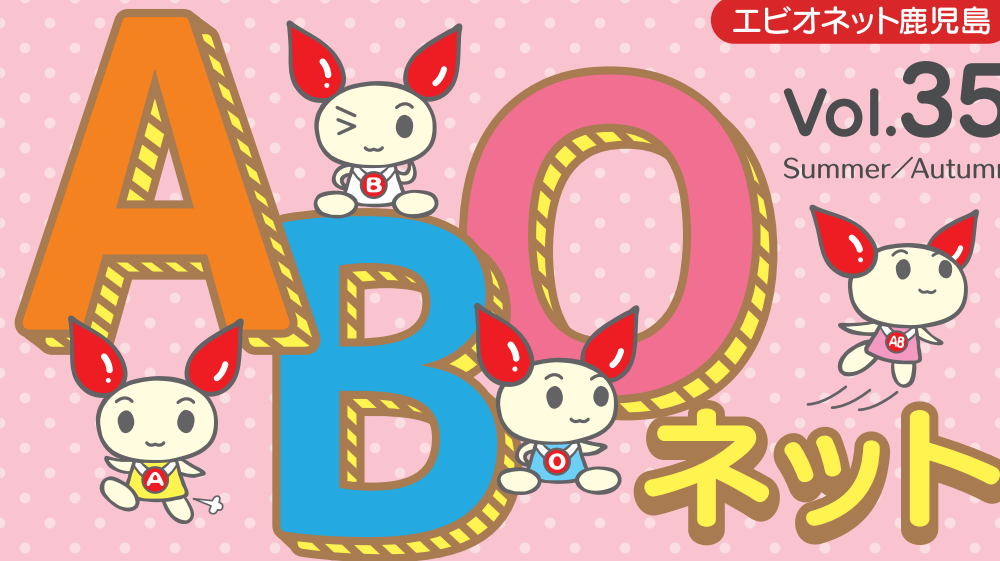


鹿児島県赤十字血液センター

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番5号
TEL.099-257-3141 FAX.099-257-3144

エビオネット鹿児島

Vol.35
Summer/Autumn



献血 Q & A



Q

血液製剤はどれくらい保存できるの？

A

赤血球製剤は200mL・400mL献血、血漿製剤・血小板製剤は成分献血でいただいた血液から作られています。
血液製剤は、生きている細胞が入っているので、あまり長い間保存することはできません。また、血液は人工的に作ることができないため、みなさまの献血が必要となります。



継続的な献血を
お願いします！



献血のわ



KCS 鹿児島情報専門学校 (鹿児島市)

本校は、1984年に開校したIT技術者を育成する専門学校です。
現代では、なくてはならないコンピュータのシステムを開発するエンジニアを毎年多数送り出しています。毎年2回実施している献血活動は、命のボランティア活動として位置づけ、多くの学生が少しでも役に立てればと思って参加しています。



わ

わ



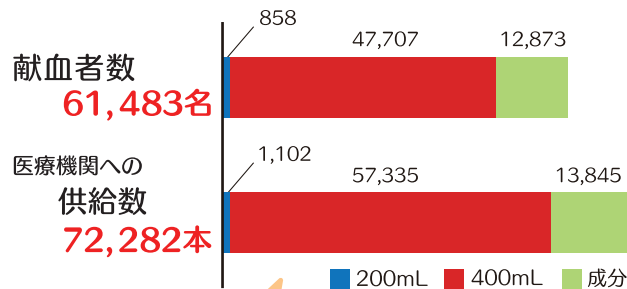
そお鹿児島農業協同組合 (曾於市)

当組合は平成5年に合併し、今年25周年を迎えました。広大な土地を活かした農産物のほか、肉用牛・豚等の畜産などの農業振興に取り組んでいます。また、地域に根ざす組織として地域活性化のため貢献活動にも積極的に参加しています。街頭での交通安全立哨や公道のゴミ拾い・祭り参加など多数行っていますが、献血活動もそのひとつの活動で年2回定期的に行っています。今後も皆様の役に立てる献血に積極的に参加します。

〈平成29年度〉 献血者数及び 血液供給数 統計報告



平成29年度は延べ61,438名の方にご協力いただきました。ありがとうございました。
今後も、定期的な献血にご協力をお願いいたします。



10代、20代の若い方の献血が減少しており、20年前の30%以下になっています。 **45,443名** (平成9年) → **12,703名** (平成29年)

※献血血液は、分離・調整のうえ、複数の血液製剤として供給しますので、上記数値だけでは過不足を判断できるものではありません。

＼ 献血ありがとう / いのちをつなぐ友の会

『献血が紡ぐ誰かの明日』

「いってきます!」
朝七時、制服に腕を通し、自転車を漕いで学校へ向かいます。三年前の私にとって、高校に通うことは「夢」でした。

小学校六年生の時「図書券がもらえるから」と受けた健康診断で、骨髄異形成症候群という病気が発覚しました。時が進むにつれて病状が悪化し、手も臉も白くなり、生きる気力も湧かず、ただただ怠さと戦い続ける日々。三階にある教室に行くのも一苦勞していた中学二年の春に初めて輸血をしました。夜の十二時半に入院、初めての輸血と病気の行く末を案じるにつれて、不安が増大しました。そのとき、母が輸血用の血液は献血によって得られていると教えてくれました。「輸血が受けられるのは誰かを思いやるスーパーヒーローのおかげなんだ。」「私は守られている。生きなければ。」と不安に沈んでいた心を奮い立たせてくれました。

骨髄移植に踏み切った時は、長期の入院で「私なんか生きていたって」と自暴自棄になっていました。そんなときにも輸血をするたびに「生きる!」というエールを全身で感じました。こんな私にも救いの手を差し伸べてくれる人がいるのかと胸がいっぱいになりました。全国のスーパーヒーローのおかげで、長期の入院に耐え、病気を克服することができました。

そして、いま、私は見違えるほど元気になりました。私は生涯献血することはできません。その分、スーパーヒーローの仲介役となり、献血の輪を広げて行くために微力ながら、青少年赤十字の一員として活動しています。私の原動力はいつだってあの時の輸血です。今の私があるのも、学校に通えるのも、ボランティアに励めるのも、将来について思いを馳せられるのも、みなさんの献血があるからです。あなたの思いが、誰かの明日を紡ぐのです。私は、そんな素敵な活動の一助ができて幸いです。

受血者 友の会 川上 友里さん